

## 小田原駅西口市街地広報



市街地広報をする広報官

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林一陸尉）は、7月17日（金）、JR小田原駅西口において高校生を対象に、自衛官募集の市街地広報を行った。この駅前広報は、6年前から続く小田原地域事務所の募集広報活動であり、担当広報官とJR小田原駅とのつながりにより行っているものである。広報官は、募集はがきを封入したポケットティッシュを約500個配布し、自衛官募集を広報した。小田原地域事務所は、「手応えを感じ募集広報活動の資とすることができた。今後とも、積極的に市街地広報を実施していきたい」としている。

## 自衛官募集相談員自宅にポスター掲示



掲示された募集ポスター

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、7月17日（金）、自衛官募集相談員の小島氏の自宅にある掲示板に、募集ポスターの掲示を依頼したところ、協力が得られることになった。設置場所は、政党ポスターが貼られるなど、人目に付きやすい環境であり、大きな募集広報効果が期待される。厚木募集案内所は、「今後も、募集ポスターの掲示場所の確保を進め、更なる募集成果の獲得を目指す」としている。

## 厚木市小学校安全部会 震災講話



講話の様子



講話をする所長

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、7月17日（金）、厚木市立上依知小学校で、厚木市小学校教諭安全部会（教諭35名）に対し、東日本大震災に関する講話を行った。本講話は、震災での自衛隊の活動を知ること、小学校が被災時の参考にしたいと、小学校からの依頼により実現したものである。東日本大震災での活動を中心に、災害派遣用の装備などの説明を行った。部会員からは、「実際に活動して困ったことはないか？」「準備しておくことはないか？」などの質問などがあり、お互いにとって有意義な講話の機会であったと考える。厚木募集案内所は、「今後も、積極的に講話などを行い、自衛隊の活動状況を発信することで募集成果の拡大を目指す」としている。